

まちの話題

ISA City Topics



「新たな伊佐の息吹を」 伊佐市成人式

1月3日、伊佐市文化会館で平成29年伊佐市成人式が行われました。華やかな振袖や新調したスーツを身にまとった新成人が、友人たちと久しぶりの再会を喜んでいました。

式では、中高生グループ「チームちむどん」が力強くしなやかな踊りでオープニングを飾り新成人を祝福しました。新成人295人を代表して山口純貴さんが「20歳の抱負」を述べ、実行委員企画「新成人の主張」では代表6名が思い思いに決意や未来への希望などを発表しました。

市長をはじめ来賓の皆さんからの激励を受け、若者たちが新たな一歩を踏み出しました。



第38回菱刈剣道大会



1月9日、菱刈農業者トレーニングセンターで第38回菱刈剣道大会が行われました。県内外から77チームが参加し、日頃の稽古の成果を競いました。結果は次のとおりです。

小学生男子の部 (31チーム)

優 勝 水俣武道館 (熊本県水俣市)

準優勝 広瀬道場 (霧島市)
第三位 横川剣道スポーツ少年団A (霧島市)
富隈剣道スポーツ少年団 (霧島市)

小学生女子の部 (11チーム)

優 勝 高尾野剣道スポーツ少年団 (出水市)
準優勝 山下剣道スポーツ少年団 (阿久根市)
第三位 広瀬道場 (霧島市)
勝栗道場A (湧水町)

中学生男子の部 (21チーム)

優 勝 栗野中学校A (湧水町)
準優勝 南九クラブ (南九州市)
第三位 祁答院中学校 (薩摩川内市)
帖佐中学校 (始良市)

中学生女子の部 (14チーム)

優 勝 帖佐中学校 (始良市)
準優勝 高尾野中学校 (出水市)
第三位 栗野中学校 (湧水町)
加治木中学校A (始良市)

文化フェスティバル



12月17日・18日、伊佐市文化会館で「本物感動文化フェスティバル」が開催されました。

二日間で8団体の舞台発表と4団体の展示等があり、小ホールでは演劇ワークショップ「劇団いさ」の発表公演が行われました。舞台発表では書道パフォーマンスやダンス、楽器演奏が披露され、小学生から高校生までそれぞれの個性が輝く二日間となりました。

大口高校生大活躍！ 冬休みパワーアップ自習室



12月26日・27日の二日間、大口元気こころ館と市役所菱刈庁舎で市内の小学3年生～中学3年生を対象に「冬休み算数・数学&英語パワーアップ自習室」が開かれました。

二日間で55人が参加し、冬休みの課題などをもち寄って学習に取り組みました。この自習室は平成25年度から夏休みと冬休みに開催しており、今回は大口高校の生徒7人が先生役としてボランティアで参加しました。高校生は、小中学生からの質問に丁寧に答えて学習のサポートをしていました。

エコフィード活用畜産物生産の 最優秀賞受賞



食品をろ過したあとの残りかす等のエコフィードを活用して特色ある畜産物を生産する先進的な優良事例を表彰する「平成28年度エコフィードを活用した畜産物生産の優良事例表彰式」(公益社団法人中央畜産会主催)で、(株)ジャパンファーム養豚事業本部が最優秀賞(農林水産省生産局長賞)を受賞しました。

同社は、養豚大規模経営でエコフィードを導入した事例で、地場産業である焼酎製造の過程で発生する焼酎粕の処理という課題を大口酒造(株)と協力して解決したという点が高く評価されました。おめでとうございます。

※エコフィードとは、“環境にやさしい”や“節約する”等を意味するエコと、“飼料”を意味するフィードを併せた造語。

小正月のめのもち飾り



正月行事の一つで、小正月を前に作られる「めのもち飾り」。

内田一さん宅(農林高通)では毎年、家族総出で一日掛かりでめのもち飾りを作っています。早朝から約40kgの餅をつき、今年も見事なめのもち飾りが完成しました。美味しそうな餅がたくさん付いた枝が垂れ、根元に置かれた米俵とともに迫力があります。

内田さんは「父の代から続けており、子ども達にも作り方を伝えている。いろんな人に見に来てほしい」と話していました。

家族の安全運転を願う



市内全ての小学生 1,178 人が、飲酒運転をしないようハガキで呼び掛けました。

ハガキは家族あてで、飲酒運転をしないように願うメッセージのほか、仕事で疲れた親を気遣ったり、日頃の安全運転に対する感謝の気持ちが書かれていました。ハガキは、全児童を代表して大口小学校の児童 4 名により 12 月 21 日に投函されました。

この取組は今年で 3 回目で、企画した伊佐地区安全運転管理協議会青年部から児童たちへ反射リストバンドが贈られました。

五穀豊穡を祈り 力いっぱい地面をたたく



1 月 14 日、堂崎自治会で小正月行事の「モグラ打ち」が行われました。

今年一年の豊作を願って、春の農耕の時期を前にモグラが地中を荒らさないよう、子どもたちが自治会内の家々の地面をたたいて回ります。

子どもたちは大きな声でモグラ打ちの歌を歌いながら、「ホテ」と呼ばれる竹の先にワラを付けた棒で地面をたたいて五穀豊穡を祈りました。

南三陸へクリスマスプレゼント



12 月 21 日、羽月西小学校の児童が宮城県南三陸町に手づくり干し柿を贈りました。

今年で 5 回目となる干し柿プロジェクト。11 月には JA 女性部や地域住民に教わり、約 2,000 個の柿の皮むきをしました。それから約 1 か月間、学校の渡り廊下に吊るされた柿はとても甘い干し柿になりました。

児童たちは「干し柿を食べて元気になってほしい。早く復興してほしい」と気持ちを込めてパックに詰め、クリスマス・イブに届くように南三陸町の社会福祉協議会に送りました。干し柿は毎年、仮設住宅に暮らしていたり、デイケアに通う高齢者に届けられています。

行政相談ってなんだろう



1 月 17 日、南永小学校で行政相談出前教室があり、6 年生 4 人が行政相談について学びました。まず、鹿児島行政評価事務所職員から「私たちの生活と行政との関わり」について説明を受けた後、伊佐市担当の行政相談委員である向江知恵子委員、小椎八重猛委員から相談事例の紹介がありました。小学生の気づきにより改善したものや、行政相談により南永校区コミュニティ前に郵便ポストが設置されるという身近なものもありました。

児童たちは、地域をみて改善して欲しいことを相談できる行政相談のことを知り、一人で悩まず誰かに相談することの大切さを学びました。